

史上最大の犠牲者を出した 第二次世界大戦

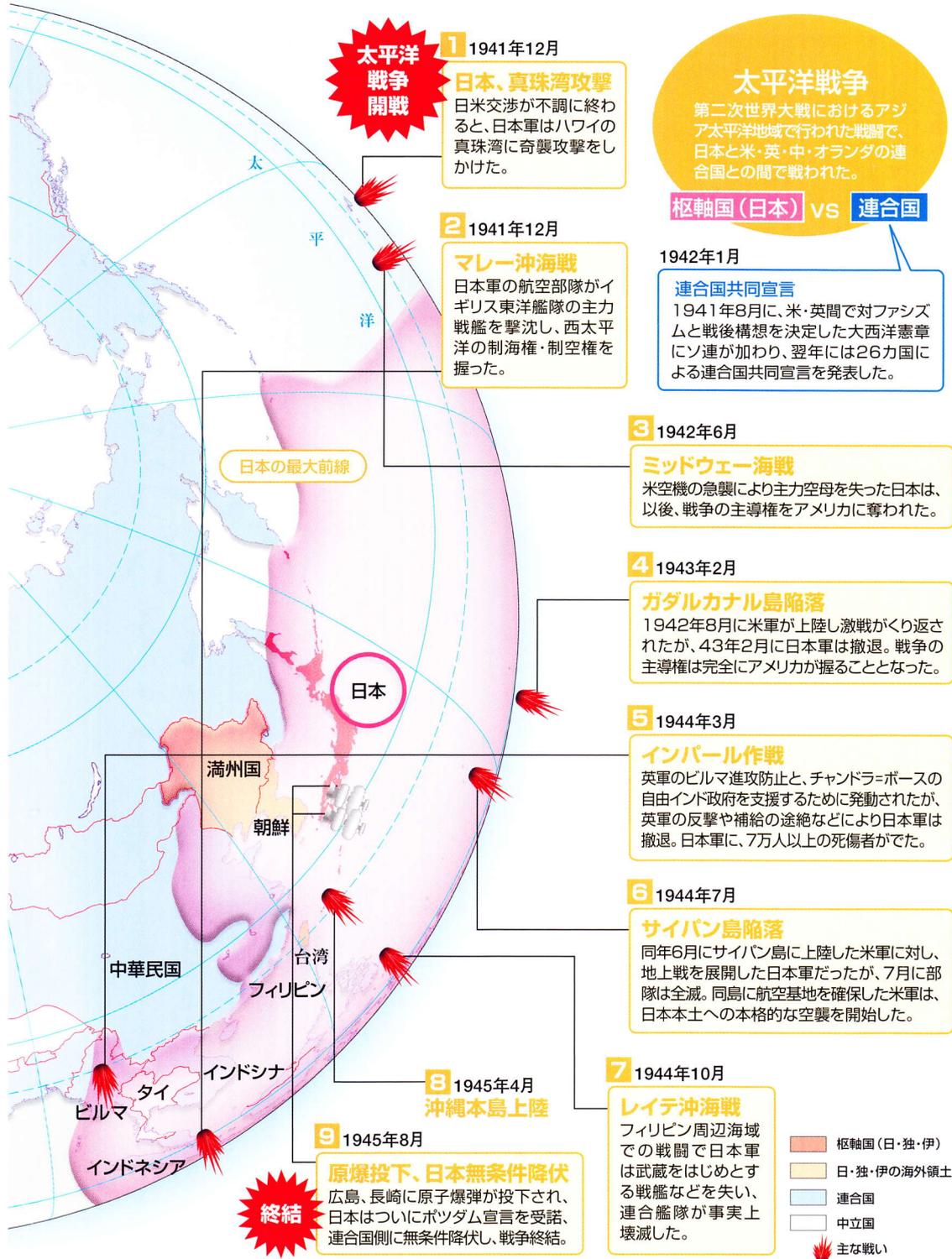


ドイツのポーランド侵攻によって始まった第二次世界大戦は、日米開戦によりヨーロッパとアジア・太平洋を主戦場とする、世界を巻き込む戦争となった。

太平洋戦争

第二次世界大戦におけるアジア太平洋地域で行われた戦場で、日本と米・英・中・オランダの連合国との間で戦われた。

枢軸国(日本) vs 連合国



1 1941年12月
日本、真珠湾攻撃
日米交渉が不調に終わると、日本軍はハワイの真珠湾に奇襲攻撃をしかけた。

2 1941年12月
マレー沖海戦
日本軍の航空部隊がイギリス東洋艦隊の主力戦艦を撃沈し、西太平洋の制海権・制空権を握った。

1942年1月
連合国共同宣言
1941年8月に、米・英間で対ファシズムと戦後構想を決定した大西洋憲章にソ連が加わり、翌年には26カ国による連合国共同宣言を発表した。

3 1942年6月
ミッドウェー海戦
米空機の急襲により主力空母を失った日本は、以後、戦争の主導権をアメリカに奪われた。

4 1943年2月
ガダルカナル島陥落
1942年8月に米軍が上陸し激戦がくり返されたが、43年2月に日本軍は撤退。戦争の主導権は完全にアメリカが握ることとなった。

5 1944年3月
インパール作戦
英軍のビルマ進攻防止と、チャンドラ=ボースの自由インド政府を支援するために発動されたが、英軍の反撃や補給の途絶などにより日本軍は撤退。日本軍に、7万人以上の死傷者が出た。

6 1944年7月
サイパン島陥落
同年6月にサイパン島に上陸した米軍に対し、地上戦を展開した日本軍だったが、7月に部隊は全滅。同島に航空基地を確保した米軍は、日本本土への本格的な空襲を開始した。

7 1944年10月
レイテ沖海戦
フィリピン周辺海域での戦場で日本軍は武蔵をはじめとする戦艦などを失い、連合艦隊が事実上壊滅した。

8 1945年4月
沖縄本島上陸

9 1945年8月
原爆投下、日本無条件降伏
広島、長崎に原子爆弾が投下され、日本はついにポツダム宣言を受諾、連合国側に無条件降伏し、戦争終結。

終結

● 枢軸国(日・独・伊)
● 日・独・伊の海外領土
● 連合国
● 中立国
● 主な戦い

1929年の世界恐慌によってヴェルサイユ体制をはじめとする国際協調体制は崩れ、世界は再び大戦へと突入していった。38年ごろから対外侵略政策を活発化させていたドイツのヒトラーに対し、英・仏は反共産党政策を優先、ドイツはさらに侵略政策を推し進めた。39年8月に独ソ不可侵条約を結んで後方に備えると翌9月にポーランドへ侵攻、これに対抗して英・仏がついに宣戦し、第二次世界大戦が始まった。開戦後のドイツは次々と周辺国を占領し、40年5月には北フランスに進軍、6月にパリが陥落、フランスを降伏させた。このときドイツの勝利を確信したイタリアもドイツ側に立って参戦した。

そのころ日本は、日中戦争の長期化で、石油などの戦略物資を求めて東南アジアへ進出していた。40年9月に日独伊三国同盟を、また、41年4月に日ソ中立条約を結び日本は東南アジア進出をさらに推し進めたが、この南進政策は米・英・オランダとの利害対立を深めた。そして、対日石油輸出禁止などの措置をとったアメリカとの交渉が行き詰まり、日本軍は12月にハワイの真珠湾を奇襲攻撃し、太平洋戦争が勃発。戦争は全世界的な規模に発展した。

**ヨーロッパと太平洋を舞台に
世界を巻き込んだ激戦**

ヨーロッパ戦線

第二次世界大戦のヨーロッパ戦線は、ドイツのポーランド侵攻によって英・仏とドイツが開戦したことに始まる。1941年からは独ソ戦も開始された。

枢軸国(独、伊) vs 連合国

日独伊三国同盟の枢軸国

ヨーロッパでのドイツ軍の優勢を背景に、1940年9月にベルリンで日本、ドイツ、イタリアは三国同盟に調印した。

独、連合国の商船を攻撃

ドイツ軍は潜水艦による通商破壊戦を展開。連合国、中立国の船舶2500隻以上を沈めた。

アメリカ

真珠湾攻撃で参戦

国内の孤立主義世論を背景に中立を保っていたが、1941年3月には武器貸与法を制定して連合国を支援。12月の真珠湾攻撃を機に参戦した。

第二次世界大戦開戦

1 1939年9月

独、ポーランド侵攻

1939年8月に独ソ不可侵条約を結んだドイツはポーランドに侵攻。これに対し英・仏が宣戦して第二次世界大戦が始まった。

2 1940年6月

連合軍、ダンケルクから撤退

ドイツ軍が北フランスに侵攻すると、孤立した英・仏軍はダンケルクからイギリス本土に撤退。同月ドイツ軍がパリを占領した。

3 1941年4月

独、バルカン半島へ侵攻

ドイツ軍がユーゴスラビア、ギリシアを制圧すると独ソ関係は緊迫。ドイツは6月にソ連への侵攻を開始した。

4 1942~1943年

スターリングラード攻防戦

ソ連第三の工業都市を奪うため、ドイツ軍はスターリングラード(現ヴォルゴグラード)に侵攻するが、ソ連軍の反抗で敗北。以後劣勢に転じる。

5 1943年9月

伊、無条件降伏

英・米連合軍が北アフリカからシチリア島に侵攻すると、軍部や保守派がムッソリーニを逮捕。バドリオ政権を樹立し連合国に無条件降伏した。

6 1944年6月

連合軍、ノルマンディー上陸

「史上最大の作戦」といわれ、第1波攻撃だけで約17万6000人の兵士が作戦に参加。その後約3カ月で連合軍はフランスの大部分を奪還した。

7 1945年5月

ベルリン陥落で独が降伏

ノルマンディー上陸作戦に成功した連合国側が次第に勢力を盛り返し、1945年からはドイツ領内に侵攻。4月にソ連軍がベルリンを包囲、ヒトラー自殺ののち、5月にドイツは無条件降伏した。

終結

独・伊の最大前線

1939年

ソヴィエト・フィンランド戦争開戦後、ソ連は、独ソ不可侵条約の密約に基づきポーランド東半分を占領したのち、フィンランドにも侵攻。

独の東欧進出で転換

1940~41年にかけて、ドイツがハンガリー、ルーマニア、ブルガリアを枢軸側に参加させると、ソ連の対独不信が募るようになった。

1944年11月
連合軍、
北アフリカ侵攻

イタリア領
東アフリカ

英領インド

民間人の犠牲者が拡大した 第一次世界大戦以上の総力戦

第二次世界大戦での死者は5000万人を超え、なかでも民間人の犠牲者数は3400万人に達したといわれている。第二次世界大戦は第一次世界大戦以上の総力戦となり、相手国の生産力や士気を奪うことが戦略上の重要事となったためであり、爆撃機による空襲などで多くの都市住民が犠牲となった。また、原子爆弾に代表される兵器の進化と破壊力の増大も犠牲者数を増した要因である。

さらに、ナチスによるユダヤ人虐殺など、非戦闘員の大量虐殺が起ったことも見逃せない。1942年以降、ナチスはアウシュヴィッツなどの「絶滅収容所」を建設し、大量虐殺による「ユダヤ人絶滅」を図った。

日・独・伊を中心とした枢軸国は緒戦は優勢だったが、物資や情報の面で勝る連合国側が次第に戦局を有利に展開するようになった。イタリアは米・英軍がシチリア島に上陸するとムッソリーニが失脚、代わったバドリオ政権は43年9月に無条件降伏した。また、条約を破棄し、ソ連に侵攻したドイツは42~43年のスターリングラード攻防戦以後劣勢となり、各地で敗北を重ねた。45年にはソ連が加わった連合軍がドイツ領内に侵攻、4月にはヒトラーが自殺し翌5月に無条件降伏した。

日本は、42年のミッドウェー海戦以後、劣勢に転じた。45年8月には広島と長崎に原子爆弾が投下され、さらに同年2月のヤルタ会談で対日開戦の密約を結んでいたソ連が参戦すると、ついにポツダム宣言を受諾し、8月15日に無条件降伏した。